

大町ロータリークラブでの発表 (H29.5.10)

5月10日水曜日、大町ロータリークラブの方々にアジア・アフリカ難民支援運動（アジアフ活動）について発表しました。

4月に埼玉県のマザーランドアカデミーへ行き、研修を行いました。そこで、マザーランドアカデミーの方から聞いたお話しや、実際に箱詰めをしてみて学んだこと、感じたこととお話ししました。

6月には、ビラ配りと物資回収があります。物資回収で集められた物資は、岳嶺祭でアジアフバザーを行います。アジアフバザーで集まった売上金はマリ共和国へ物資を送るための輸送費となります。昨年度送った物資も無事マリ共和国に届いたことも報告できました。

そして、私たちがこれまで支援を行ってきたマリ共和国についてお話ししました。

マリ共和国は西アフリカにある国土の3分の1が砂漠という乾燥地帯にある国です。アジアフ活動が始まった33年たった今でもテロや内紛が起きています。その原因の一つは貧困であり、2人に1人しか食事ができない、50人に1人しか靴を履けないというのがマリ共和国の現実です。

大町ロータリークラブの方々は私たちの発表を真摯に聞いてくださり、「余っているところから足りないところへ」というアジアフ精神を理解してくださいました。